

献立ひとくちメモ

11月16日(水)



麻婆豆腐のお話です。

麻婆豆腐が生まれたのは、約100年前の中国（清王朝時代）で、四川省の都である成都に住んでいた陳^{ちん}さんという女将さんが働く労働者のためにあり合わせの材料で作ったのが最初といわれています。陳さんの顔には「あばた（麻点＝小さなくぼみ）」があったため、「陳麻婆」と呼ばれており、彼女の作る豆腐料理も「陳麻婆豆腐」と呼ばれるようになりました。

日本では、四川省の料理人「陳建民」が、日本人の味覚で受け入れやすく調製し、1970年代にテレビで紹介したのがきっかけで全国に広まりました。